



<http://koma33.web.fc2.com/turuhora.html>

**区別のポイント**

根茎は長く這い、左右に葉を出す。葉には2型あり、栄養葉は単羽状、胞子葉は2回羽状になる。

**形態** 常緑で中型のシダ植物。根茎が長く樹幹や岩上を匍匐する。

**分布** 本州南西部および伊豆諸島・四国・九州・沖縄

**名前の由来** 岩陰に生えることから洞苔。本種は根茎が這うことから。

**葉** **〈全体〉**葉柄は長さ 0.8 ～ 2 cm、翼はほとんど基部まで達する。葉身は単羽状複生で線状披針形から広披針形、長さ 10 ～ 30 cm、幅 1.5 ～ 4 cm。

**〈羽片〉**。先端は円頭から鈍頭、基部はくさび形で、上側が耳型に張ることが多い。胞子囊群をつける羽片はほぼ全裂し、小羽片も深裂する。つけない羽片は中裂で裂片は波状縁。

**備考**

**出典** 4, ※